



# 行政

市民の暮らしが向上し、御坊市を誇りに思えるよう、  
創意工夫された行政サービスの実践に努めます。

## 効率的な行政運営

現在、地方自治体はかつてない「変革」を求められており、  
国における三位一体の改革や財政再生の動きが本格化する中  
で、地方自治体の自立化、時代に即応したサービスと健全な財  
政運営が求められています。

そうした中、議会や住民の理解と協力のもと、市民とともに  
歩む市政に努めています。



# 議会

よりよい暮らしを求める市民の声を行政に届け、  
市民とともに未来の御坊市を創造していきます。

## 深い議論ができる体制

御坊市の市議会は、定数14名の市議会議員で構成されていま  
す。本会議として年4回の定例会をはじめ、必要に応じて臨時  
会を開き、市政の方向性の審議や条例の制定、予算の議決がお  
こなわれています。

また、多様化する諸問題に対応するため常任委員会、特別委  
員会を設置しています。

- 昭和 29年 4月 御坊町・湯川村・藤田村・野口村・塩屋村・名田村が合併し市制施行
- 昭和 30年 1月 市制施行後初の市議会議員選挙(定数30名)
- 昭和 31年 10月 国勢調査で人口3万1千908人
- 昭和 31年 11月 国から財政再建団体に指定(12カ年計画)
- 昭和 32年 5月 合併後の市庁舎が竣工
- 昭和 34年 4月 印南町・明神川の境界変更、一部が御坊市に編入
- 昭和 38年 11月 財団法人御坊市開発公社(現土地開発公社)設立
- 昭和 39年 4月 上水道事業が発足
- 昭和 40年 10月 国勢調査で人口3万4000人
- 昭和 41年 3月 財政再建を完了
- 昭和 44年 6月 火力発電所誘致計画を発表
- 昭和 45年 7月 市立体育館が竣工
- 昭和 46年 12月 黒潮国体開催
- 昭和 48年 10月 御坊市同和对策長期計画を策定
- 昭和 50年 5月 市新庁舎が竣工
- 昭和 50年 10月 御坊市老人大学が開校
- 昭和 53年 10月 国勢調査で人口3万2722人
- 昭和 53年 11月 紀勢本線電化が完成
- 昭和 56年 3月 日高町・荊木地区の境界変更、一部が御坊市に編入
- 昭和 57年 3月 御坊発電所の工事着工
- 昭和 57年 12月 御坊市福祉センターが竣工
- 昭和 57年 3月 新消防庁舎が竣工
- 昭和 58年 10月 日高港が国の重要港湾に指定
- 昭和 59年 2月 御坊市長期総合計画を策定
- 昭和 60年 4月 市民文化会館が竣工
- 昭和 62年 4月 御坊発電所が竣工
- 昭和 62年 10月 国勢調査で人口3万4500人
- 昭和 62年 4月 近畿自動車道紀勢線「湯浅御坊道路」が事業化
- 平成元年 11月 御坊市畜場が竣工
- 平成3年 4月 第2次御坊市長期総合計画を策定
- 平成5年 2月 御坊駅前広場が竣工
- 平成7年 10月 御坊総合運動公園オープン
- 平成7年 10月 国勢調査で人口2万8千510人
- 平成8年 3月 湯浅御坊道路(広川・御坊間)が開通
- 平成10年 5月 日高港港湾整備事業起工
- 平成10年 10月 北塩屋住宅団地が竣工
- 平成13年 4月 第3次御坊市長期総合計画を策定
- 平成15年 12月 御坊市立給食センターが竣工
- 平成15年 3月 阪和自動車道(御坊・みなべ間)が開通
- 平成16年 4月 日高港暫定供用開始
- 平成17年 5月 市制50周年記念式典
- 平成19年 10月 国勢調査で人口2万7千533人
- 平成19年 10月 日高港に新エネルギーパーク(EEパーク)がオープン
- 平成20年 11月 阪和自動車道(みなべ・田辺間)が開通
- 平成20年 6月 御坊・日高障害者総合相談センターが竣工

## ◎ 御坊市略年表